

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第561号 2026. 8/6

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 笹岡 健治

目	次
退任理事へ感謝状・記念品を贈呈…………… 1	事務局レポート…………… 4
全日本プラスチック製品工業連合会	低発泡成形技術の開発…………… 6
第65回通常総会を開催…………… 2	暑中広告…………… 8

退任理事へ感謝状・記念品を贈呈 ～長年にわたるご尽力に感謝を込めて～

令和8年7月16日、日比谷パレスで開催した納涼会において、長年にわたり当協会の理事として協会運営と業界の発展にご尽力いただいた退任理事の皆様へ、住田嘉久会長から感謝状と記念品を贈呈しました。

今回、会場では、平塚隆文様(株式会社三光社)、小菅恵美子様(株式会社荒川樹脂)、長谷川矩之様(群馬県プラスチック工業振興協会)の3名に感謝状と記念品をお贈りしました。平塚様は16年、小菅様は6年、長谷川様は群馬県プラスチック工業振興協会会長としてのご活躍とともに6年にわたり理事を務められ、協会運営に多大なご貢献をいただきました。

また、ご都合により出席がかなわなかった池添亮様(栃木県プラスチック工業振興会)、佐藤正幸様(福

島県プラスチック工業会)にも、感謝状と記念品をお送りし、長年のご功績に感謝の意をお伝えしました。

贈呈後には、退任された理事の皆様からご挨拶をいただき、在任中の思い出や協会への期待など、心温まるお話を伺うことができました。会場は終始和やかな雰囲気にも包まれ、参加者はこれまでのご尽力に改めて感謝するとともに、協会の歴史や絆を再認識するひとときとなりました。



住田会長と平塚様



小菅様



長谷川様

全日本プラスチック製品工業連合会 第65回通常総会を開催 ～児玉新会長のもと、新たな一步を踏み出しました～

令和8年6月4日、新大阪ワシントンホテルプラザにおいて、全日本プラスチック製品工業連合会第65回通常総会を開催しました。

東日本・中部日本・西日本協会役員が出席し、令和7年度事業報告・決算、令和8年度事業計画・予算など全議案が審議され、原案どおり承認されました。

今回の総会では、役員改選に伴い中部日本協会・三扇化学株式会社の児玉康彦氏が新会長に就任し、新たな体制で連合会がスタートしました。

新会長就任「変化を力に、 業界の未来を切り拓く」

就任した児玉会長は、「プラスチック業界は、原材料価格の高騰、人手不足、環境対応など数多くの課題に直面しています。しかし、日本のものづくりを支える産業として、その役割は今後も変わりません。業界が力を合わせ、新しい時代に対応していくことが重要です。」

と抱負を述べ、会員相互の連携をさらに深め、業界の発展に尽力する決意を表明しました。

令和7年度 主な取組

事業報告では、この一年間の活動として次のような取組が紹介されました。

■ JAIM への参画

製造分野の人材確保を目的として設立された「一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)」に当連合会が参画し、専務理事が理事に就任しました。外国人材制度の円滑な運営に業界の立場から協力していきます。

■ 高齢者雇用推進事業が採択

JEED（高齢・障害・求職者雇用支援機構）の「産業別高齢者雇用推進事業」に採択されました。

令和8年度から、高齢者が働き続けられる職場づくりを目指し、実態調査やガイドライン作成、セミナー開催などを進めていきます。

■ 技能検定事業を継続

中央職業能力開発協会と連携し、技能検定試験問題作成への協力や全国の技能検定関係団体との情報交換を継続しました。

技能者育成は、今後も連合会の重要な活動の一つです。

■ 景況感調査・政策提言

四半期ごとの景況感調査を継続し、その結果をもとに経済産業省へ業界の実情を報告しました。

また、中東情勢や自動車産業の取引適正化など、時宜に応じたアンケート調査も実施し、会員企業の声を国へ届けました。

令和8年度は「人材」と「環境」を重点テーマに

令和8年度は、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、人手不足、環境規制への対応など、引き続き厳しい経営環境が見込まれています。こうした状況を踏まえ、連合会では次の事業を重点的に推進します。

- ・ JAIM との連携による外国人材の受入れ支援

- ・ 高齢者雇用推進事業の本格実施
- ・ 景況感調査や政策要望活動
- ・ SDGs・資源循環・環境規制への対応
- ・ DX・IoTを活用した生産性向上
- ・ 技能検定事業の推進

また、12月の理事会は「IPF JAPAN 2026（幕張メッセ）」で開催する予定であり、業界とのさらなる連携強化を図ります。



原前会長と児玉新会長

業界の未来につながるアンケート調査にご協力を！

全日本プラスチック製品工業連合会では、JEED（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）の委託を受け、「プラスチック製品製造業高齢者雇用推進事業」を実施しています。本年度は、正会員企業及び高齢従業員を対象に、高齢者雇用の現状や課題、高齢者が能力を十分発揮できる職場づくりの取組状況などを把握するための

アンケート調査を実施します。調査結果は、来年度作成予定の「高齢者雇用推進ガイドライン」の基礎資料として活用し、会員企業の皆様に役立つ情報として提供する予定です。対象企業には後日調査票をお送りしますので、本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

事務局レポート

1. 第427回理事会を開催

新たな研究会・勉強会の開催を承認

7月16日、日比谷パレスにおいて第427回理事会を開催しました。理事18名、監事1名が出席し、今後の事業や会員サービスの充実に向けた議案について審議しました。

原材料価格や物流への影響に引き続き注視

住田会長ご挨拶 「本日はお忙しいところ、第427回理事会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

先日、トランプ大統領が、ホルムズ海峡を通過する船舶の貨物に20%の対価を課すとしていた案について、[湾岸諸国との貿易・投資協定に置き換える]とSNSで明らかにしました。商船から高額の通航料を取ることに批判もあり、表明からわずか1日で事実上撤回された形となりました。

しかし、今回改めて感じたのは、SNSへの一つの投稿が原油価格や物流不安に直結し、結果として私たちが使用する樹脂価格にも影響を及ぼしかねないということです。

一般的な大型原油タンカー、いわゆるVLCCは、1隻で約200万バレルの原油を積むことができます。1バレルは約159リットルですので、これはおよそ3億リットル、日本の約半日分の石油需要に相当する量です。

仮に原油価格を1バレル80ドル、為替を1ドル160円として計算すると、タンカー1隻分の原油価格は約256億円になります。その20%となると、

通航料だけで約51億円という規模になります。

もちろん、これは仮定の計算ではありますが、私たちの業界がいかに国際情勢、原油価格、為替、物流の影響を受けやすいかを、非常に分かりやすく示していると思います。

一つの政治的発言、一つのSNS投稿、一つの海峡の緊張が、ナフサ価格、樹脂価格、物流費、さらには会員企業の原価や見積価格にまで波及する時代です。これまで以上に、情報を早く正確に把握し、価格転嫁や調達対応、顧客説明に活かしていくことが重要になっております。

こうした不安定な環境の中で、当工業会としても、会員企業の皆様の声を伺いながら、経済産業局をはじめとする関係機関とも連携し、原材料調達や物流、価格転嫁に関するボトルネックの把握と解消に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

なかなか明るい話題が少ない中ではございますが、本日は理事会終了後に納涼会を開催いたします。こうした時代だからこそ、会員同士、理事同士の情報交換が非常に重要だと思っております。ぜひ貴重な交流の場として、積極的にご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、本日も円滑な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。」

「第2回プラスチック成形加工研究会」を開催

理事会では、10月21日に開催予定の「第2回プラスチック成形加工研究会」の開催を承認しました。昨年度に続く開催となるもので、最新の成形

加工技術や現場改善に役立つ講演を予定しています。現場技術者や管理者の知識向上、企業間の情報交換の場として、多くの会員企業の参加を期待しています。

新たに「相続・事業承継勉強会」を試行開催

賛助会員である青山財産ネットワークス株式会社と連携し、「相続・事業承継勉強会」を試行開催することも承認されました。経営者の高齢化が進む中、円滑な事業承継は多くの会員企業に共通する重要な課題です。協会では、会員の皆様に役立つ新たな支援事業として開催してまいります。

会員数は225社に

会員の異動では、正会員3社、賛助会員1社の退会が報告され、現在の会員数は正会員154社、賛助会員71社、合計225社となりました。協会では引き続き会員サービスの充実を図るとともに、新規会員の加入促進にも取り組んでまいります。退会された正会員は ハセガワ化成工業株式会社（新潟市）、富士化学株式会社（前橋市）、株式会社大井製作所（大田区）、賛助会員はストーブリ株式会社（大阪市）です。

協会活動も活発に展開

前回理事会以降も、技能検定事業や各種研修、青年経営研究会(JPO)、製品技術部会、APM会、各支部会など、多くの活動を実施しました。また、全日本プラスチック製品工業連合会やJAIMなど関係団体との連携も継続して進めており、会員企業への支援体制の充実に努めています。

2. 第198回 APM 会コンペを開催

猛暑の中、15名が親睦を深める

7月8日、茨城県のアスレチックガーデンゴルフ倶楽部において、当協会ゴルフ親睦会「APM会」の今年度第2回コンペ（第198回）が開催さ

れました。

当日は真夏の日差しが照りつける厳しい暑さとなりましたが、15名の会員が参加し、プレーを通じて親睦を深めました。ラウンド中は各ホールで笑顔と歓声があふれ、競技だけでなく情報交換や交流も活発に行われるなど、和やかな一日となりました。

競技の結果は、優勝が谷和雄様（南大里化工）、準優勝が村岡鐘浩様（拓水工業㈱）、第3位が安達公佐様（石田プレス工業㈱）でした。入賞された皆様、おめでとうございます。

今回の第199回コンペは、11月25日（水）に茨城県の水海道ゴルフクラブで開催する予定です。APM 会会員の皆様には改めてご案内いたします。ゴルフを通じて会員相互の交流を深める絶好の機会ですので、新たに参加をご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

3. 第2回プラスチック成形加工研究会 展示募集！

10月21日（水）開催の「第2回プラスチック成形加工研究会」では、会場内に自社紹介ポスター、パンフレット、製品サンプルなどの展示コーナーを設けます。講演会には、プラスチック成形加工に携わる会員企業や技術者が多数参加する予定で、自社の技術や製品、環境への取組をPRする絶好の機会です。出展料は無料ですが、展示スペースに限りがあるため、申込多数の場合は先着順となります。ぜひ積極的なご出展をお待ちしております。詳しくは同封のチラシをご確認ください。お問い合わせは事務局まで。

低発泡成形技術の開発

発泡倍率 1.2~1.5 程度の低発泡成形品は構造部品に使用されるので、ストラクチャルフォームと呼ばれている。ストラクチャルフォーム理論によれば、片持ちはりについて発泡倍率と剛性倍率は次式の関係がある¹⁾。ここで、剛性は変形にくさを表す特性値であり、剛性が大きいほど力を受けたときに変形しにくいことを表す。

$$K = \frac{E_2}{E_1} \times \alpha^3$$

K：剛性倍率 [ソリッド（未発泡品）と発泡品の剛性比]

E₁：ソリッドの曲げ弾性率（MPa）

E₂：発泡体の曲げ弾性率（MPa）

α：発泡倍率

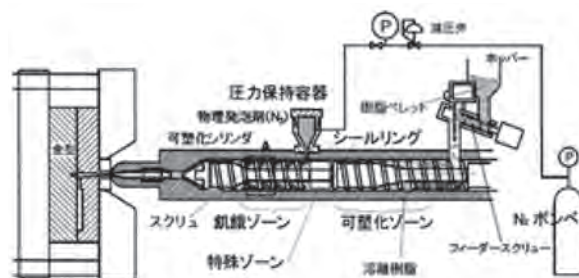
上式において E₁ ≒ E₂ の場合には剛性倍率は発泡倍率 α の 3 乗に比例する。例えば、発泡倍率が 1.3 の場合には剛性は約 2.2 (=1.3³) 倍に向上する。このように発泡させることで製品の剛性を大幅に向上できる。発泡倍率が高くなると発泡体の曲げ弾性率 E₂ が低くなるため剛性倍率も低くなる。そのため、曲げ弾性率 E₂ があまり低下しない発泡倍率 1.2~1.5 程度の低発泡成形品が使用されている。

また、低発泡成形品は次の利点もある。

- ①発泡させても質量は変わらないので材料費を節減できる。
- ②保圧の代わりに発泡圧で成形するのでひけやそりを防止できる。
- ③断熱性、吸音性など機能特性も向上する。

低発泡成形は超臨界流体による物理発泡成形法が主流であったが、最近では新しい物理発泡成形法が開発されている。これらの低発泡成形法は設備導入費が比較的安いこと、高圧ガス保安法の規制を受けないことなどの利点がある。

「RIC-FORM」(マクセル(株))²⁾ や「SOFIT」(株)日本製鋼所)³⁾ は、図に示すようにスクリュを可塑化ゾーンと飢餓ゾーン(減圧ゾーン)の 2 ステージに分けて、第 2 ステージの飢餓ゾーンの溝深さを深く設計し非充満状態(飢餓状態)にする。



第 2 ステージの空間部に一定圧の不活性ガス(N₂)を圧力保持容器から送り込むと溶融樹脂に拡散・溶解する。この不活性ガスを含んだ溶融樹脂を型内に射出すると低発泡品が得られる。

(株)ソディックは「INFILT-V」と呼ばれる低発泡成形法を開発している。成形法は同社のスクリュプリブラ式射出成形機を用いる。不活性ガス(N₂)は射出プランジャを介して射出シリンダ内の溶融樹脂に注入する。ガス注入後に射出プランジャの前進操作により高圧化することで超臨界流体状態にして発泡成形する方法である。

TOYO イノベックス(株)と村上産業(株)は「L-FORM」と呼ばれる低発泡成形法を開発している。成形法は発泡剤として水やアルコールを用いて容量制御可能な供給装置により所定の量を可塑化シリンダから供給する。成形機は汎用デザインのスクリュを用いて成形できる。

(案山子)

引用文献

- 1) J.H.Gehl, Automotive Congress Detroit, p.8 (1968)
- 2) 遊佐敦、プラスチック、72 (2), p.13, 日本工業出版 (2022)
- 3) 内藤章弘、プラスチック、75 (4), p.1, 日本工業出版 (2025)



自社工場で磨いたノウハウで 製造DXを実現



ムラテックの生産管理システム

成形工場の基幹業務をWebシステムに集約
成形業のすべてを一元管理して業務改革を推進

成形業統合生産管理システム

GMICS®

成形に最適な
マスタ

多段階
部品構成
管理

MRP/製番
ハイブリッド
方式

EDIデータ
取込み

内外多工程
管理

多拠点
在庫管理

ロット
トレース

資材管理
システム

成形工場にひそむムダ・ムラを「見える化」し
最適な成形環境を構築

成形工場現場管理システム

MICS7

最適な
計画立案

リアル
タイム
稼働監視

成形機
メーカー
不問

実績
データ
ベース化

日次更新
在庫管理

金型
メンテナンス

ムラテックは、西日本プラスチック製品工業協会および近畿経済産業局と協同で、成形機のデータフォーマットを共通化しデータを統合するシステム「Middleware(ミドルウェア)」を開発しました。「Middleware」と弊社製品とのデータ連携強化の取組みを通じて、プラスチック成形業におけるIoT導入推進に取り組んでまいります。

村田機械株式会社
ムラテックフロンティア株式会社

<https://www.muratec.jp/fs/>

ファクトリーソリューション営業部

■東日本支店 / 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802
TEL 048(649)6139 FAX 048(647)9446
■中部支店 / 愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502
TEL 0568(63)2311 FAX 0568(63)5779
■西日本支店 / 京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8390

令和八年

暑中お見舞い申し上げます

暑さ厳しい折柄
皆様のご健勝を
お祈り申し上げます

〒116-0012 東京都荒川区東尾久五十二一
電話 〇三(五八五五)三五六〇

代表取締役
福田晴通

 旭モールディング株式会社



浅間合成株式会社

代表取締役社長 嶋田修二
代表取締役専務 嶋田龍馬

本社工場
〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1
TEL (0555) 73-2831
FAX (0555) 73-2832
http://www.asama-gosei.jp/
P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp



〒116-0012 東京都荒川区荒川五十三九二
電話 〇三(三八九二)五七二一(代)

代表取締役
千代田貢一

 株式会社荒川樹脂

本社
〒116-0012 神奈川県横浜市青葉区南野川二一三
電話 〇四四(九二〇八)三三〇

代表取締役社長
秋野勝彦

 株式会社イガラシコーカ



株式会社石黒製作所

代表取締役社長
大野泰昭

〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712
URL: http://www.pla-part.com/



株式会社植田電器製作所

代表取締役
植田好司

本社 〒114-0012 東京都北区田端新町2-28-13
電話 03(3893) 3376
白岡工場 〒349-0203 埼玉県白岡市下大崎871
電話 0480(92) 8484

本社
〒132-0024 東京都江戸川区芝5-14-1 交通館芝江ビル3F
電話 〇三(五八七九)三二七三
FAX 〇三(五八七九)三二七四

代表取締役社長
野邊弘一郎

 エンゼル産業株式会社

Enplas

株式会社エンプラス

代表取締役社長
横田大輔

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
電話 048(253) 3131(代)
https://www.enplas.co.jp

〒130-0001 東京都墨田区本所四一〇一二
電話 〇三(三六二五)五六五一(代)
FAX 〇三(三六二五)三一六五

代表取締役社長
原田裕司

 大塚産業株式会社

 かみむら化学株式会社 KAMIMURA CHEMICAL co.ltd. 代表取締役社長 上村俊彦 URL: http://kamimura-kagaku.com 〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2 Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315 本社工場 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1 Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009	 先進技術とトータルシステムで貢献 株式会社 カワタ 代表取締役社長 白石 互 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-10 新川むさしやビル4階 TEL 03-3523-5680 FAX 03-3523-5682	むすぶテクノロジー 株式会社 SS サトーボーサー 監査役 佐藤 昭 代表取締役 佐藤 亮太 本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町 1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3959-5481 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷 70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-10-51
電話 〇三(三二七〇)五七二一 〒108-8339 東京都中央区日本橋二丁目三番二(三二七〇)五七二一 森原義明 代表取締役社長 高階達也 代表取締役会長 三省物産株式会社	まだみぬ、世界は、美しい SEED 株式会社シード 代表取締役社長 佐藤 隆郎 〒113-8402 東京都文京区本郷 2-40-2 TEL 03-3813-1111 https://www.seed.co.jp/	Shibaura Machine 芝浦機械株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 最高経営責任者 最高執行責任者 坂元 繁友 〒100-8503 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 4F TEL : 03-3509-0200 FAX : 03-3509-0333
ISO 9001登録企業 押出成形 SKK 白石工業株式会社 代表取締役 白石 創士 〒309-1451 茨城県桜川市西小埜1645番地 TEL 0296-71-4600	PS 新興化学 代表取締役社長 小野寺 誠 〒143-0012 東京都大田区大森東 2-34-10 電話 03-3761-2078	S SINKO IND. CO., LTD. 新興産業株式会社 代表取締役 末川 利光 〒343-0104 埼玉県北葛飾郡松伏町田島東 1-17 TEL 048-991-6222
電話 〇四(七一三三)〇四七一 〒277-0814 千葉県柏市正連寺二七二(七一三三)〇四七一 曾我部 代表取締役 曾我部 取締役会長 株式会社 新上	STAR 株式会社スター精機 代表取締役社長 塩谷 陽一 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田 3-133 電話 0587-95-7551 http://www.starseiki.com	Sodick 株式会社ソディック 代表取締役 CEO 社長執行役員 坪 祐次 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台 3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL : www.sodick.co.jp

令和八年

暑中お見舞い申し上げます



令和八年

暑中お見舞い申し上げます



 2色成形の 株式会社 ダイテック 代表取締役 伊 藤 創 〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角刈5206-3 TEL 0270-64-1819 FAX 0270-64-2014 E-mail h-ito@p-daitec.co.jp HP http://www.p-daitec.co.jp	拓水工業株式会社 代表取締役 小松 崎 電 話 03-0083 東京都江戸川区中葛西七丁目二六―一四 〇三(三六七五)二七三一	 株式会社 千葉工業所 代表取締役 長 島 光 敏 〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 TEL 047-438-3411 FAX 047-438-3413 e-mail: peels@chiba-ind.co.jp URL: http://www.chiba-ind.co.jp
 プラスチックの総合メーカー 天昇電気工業株式会社 取締役会長 石 川 忠 彦 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-16-7 駒沢中村ビル4階 TEL 03-6805-2577 FAX 03-3487-2578 https://www.tensho-plastic.co.jp	長野県プラスチック工業会 会 長 内 山 三 男 電 話 300-0936 FAX 〇〇二六 長野市大字中御所字岡田一三二―一〇 長野県中小企業会館三階 〇二六(二二二六)一五五―六	再生ペレット製造・販売  株式会社 日豊化学 専務取締役 樋 口 政 章 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 2-12-1 日豊ビル TEL 03-6825-3081
日鋼YPK商事株式会社 代表取締役社長 堤 洋一郎 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 10階 電 話 03 (5745) 2131 URL https://jsw-nyc.jp	 株式会社 日新化成 代表取締役 早 川 聖 人 〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450	役に立つ会社  日本プラスチック工業株式会社 代表取締役社長 浅 見 好 邦 本 社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) http://www.nippla-web.co.jp
HARMO 株式会社ハーモ 代表取締役社長 濱 秀 明 電 話 333-0801 〇四八(二二九一)一三五―四 埼玉県川口市東川口四―三―四	福島県プラスチック工業会 会 長 渡 部 誠 電 話 965-0844 〇二二四二(八五)七〇四六 福島県会館松田町全一郵便外一六番地	古川化学工業株式会社 代表取締役社長 古 川 雅 一 〒130-0024 東京都墨田区菊川二丁目十四番二号 電 話 03 (3631) 6 6 5 5 番 03 (3634) 3551～3 番 F A X 03 (3634) 3 5 5 4 番

 フルブラ 代表取締役 矢 後 史 彦 株式会社フルブラ 〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-16 TEL 048-562-2680	 代表取締役 鈴 木 雅 之 株式会社 ホーライ 〒590-0821 電話 06-6778-1111 東大阪市高井田本通り1-13-10 （六七七八）（二二八）	 株式会社 松井製作所 代表取締役 松井 宏信 〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 URL http://matsui.net
 株式会社村上開明堂化成 代表取締役社長 石 垣 昌 之 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館 3 階 TEL 03-6273-4120	muratec 取締役営業本部長 花田 元生 ムラテックフロンティア株式会社 本 社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 東日本支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123	プラスチック成形用金型設計・製作 明輝の金型 株式會社 明 輝 代表取締役社長 黒 柳 貴 宏 〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚 木 工 場 TEL 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一 関 工 場 TEL 0191-26-0775 海 外 工 場 マレーシア・メキシコ・ タイ・アメリカ
PE 山下電気株式会社 代表取締役社長 山 下 慎 一 郎 〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL:https://www.yamashita-denki.co.jp	PLASTICS WORLD YAMASO 増田 英輔 代表取締役社長 山宗株式会社 関東事業部 東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL:03-5297-7987 FAX:03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/	YAMATO MOBILITY & MFG. ヤマトモビリティ&Mfg.株式会社 代表取締役 重 岡 幹 生 〒350-0001 埼玉県川越市大字古谷上4274 TEL 049-235-1234
YUSHIN YUSHIN 株式会社 代表取締役社長 小谷 高代 ■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927	 株式會社 ラヤマ・パック 代表取締役 羅 山 能 弘 本社/工場 〒124-0013 東京都葛飾区東立石 1-7-5 TEL:03-3695-6011 (代) FAX:03-3695-6014 具現化工場 〒124-0013 東京都葛飾区東立石 1-17-28 https://rayama.co.jp/	 株式会社リーデンス 代表取締役社長 肥 後 武 展 本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)

令和八年

暑中お見舞い申し上げます



令和八年

暑中お見舞い申し上げます



老後の安定した生活のために

トープラ企業年金基金

理事長 時田 周明

常務理事 江藤 清隆

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13 東京ニットファッション健保会館2階

TEL 03-5809-1581

東プラ健保は加入員の健康づくりを推進しています。



東日本プラスチック健康保険組合

理事長 小林 達夫

専務理事 佐藤 栄一

常務理事 森 秀樹

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-4 電話 03-3862-1051(代)

東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に積極的に取り組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服等 ○ETC カード事業 ○ガソリンカード事業
- PL 保険、団体生命保険 ○タオル斡旋、保存食、精米機他 ○除菌消臭スプレー

上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合

代表理事 嶋田 修二

電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324

全日本プラスチック製品工業連合会

会長 児 玉 康 彦 副会長 山 田 浩

副会長 住 田 嘉 久 専務理事 笹 岡 健 治

副会長 伊勢村 昌 吾

〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F)

電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324

URL <https://www.jppef.gr.jp>